

平成27年度 県学習状況調査

能代市分析結果

能代市教育委員会

I 実施の状況

1 実施目的

学習指導要領の内容の定着度等を把握し、本県が進める少人数学習の成果や課題を捉え、学習指導の工夫改善を図るとともに、全国学力・学習状況調査、本調査及び高校入試を活用して、学習指導における検証改善サイクルを確立し、児童生徒の学力向上に資する。

2 実施学年

小学校4年生～中学校2年生

3 実施教科

小学校4年生 : 国語、算数、理科
小学校5、6年生 : 国語、社会、算数、理科
中学校1、2年生 : 国語、社会、数学、理科、英語

4 調査内容

- ①教科に関する調査
- ②質問紙調査

5 実施期日

平成27年12月2日（水）、3日（木）

※ 各教科における「2 各学年の結果について」は、本市の平均正答率が県の平均正答率を下回った問題あるいは設定通過率を下回った問題の中から、特に、指導方法の工夫改善が求められる内容を掲載しております。

※ 「Ⅲ 質問紙調査結果について」は、全国学力・学習状況調査の質問内容と重なった部分については、除いている項目もあります。学習意欲や学習状況、読書、規範意識等について掲載しております。

Ⅱ 教科に関する調査結果

1 概要について

小・中学校とも良好な状況です

<小学校>

(1) 県平均を上回る教科

全11教科、すべてにおいて県平均を上回っています。

4年生	国語、算数、理科
5年生	国語、社会、算数、理科
6年生	国語、社会、算数、理科

※県平均を大きく上回る教科（5ポイント以上）

5年生	国語、算数、理科
6年生	国語、社会、算数

(2) 昨年度との比較から

昨年度と同様、県平均を下回る教科はありません。これは3年連続となります。

また、県平均を5ポイント以上上回る教科も6教科あり、県平均を5ポイント以上上回る教科が、昨年度より2教科増えました。

<中学校>

(1) 県平均を上回る教科

全10教科のうち、9教科において県平均を上回っています。

1年生	国語、社会、数学、理科、英語
2年生	国語、社会、数学、英語

※県平均を大きく上回る教科（5ポイント以上）

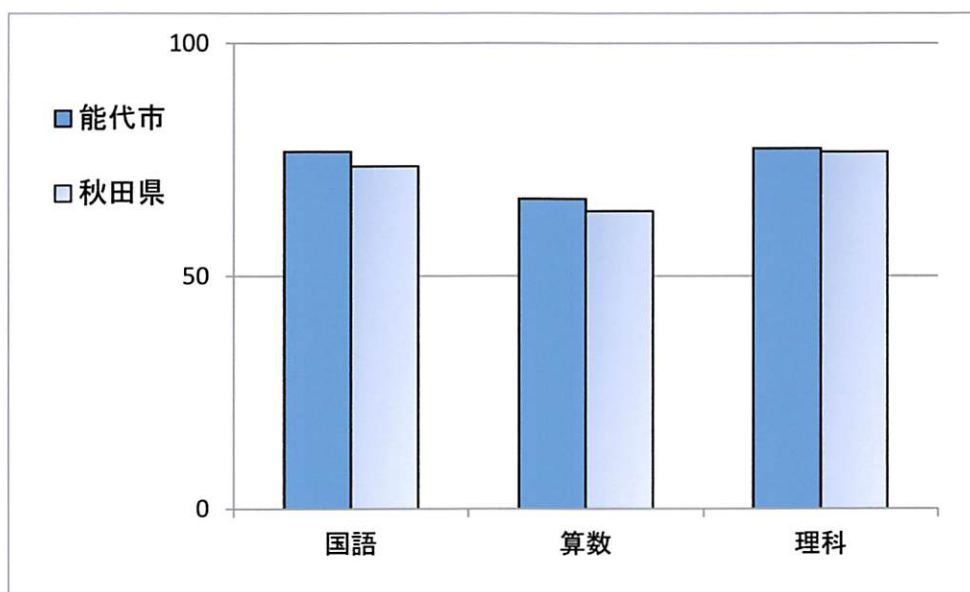
1年生	社会、数学、理科
2年生	社会、数学、英語

(2) 昨年度との比較から

昨年度と同様、2年生の理科のみ県平均をわずかに下回っています。

2 各学年の結果について

(1) 小学校 4 年生平均正答率



☆ 各教科とも良好な状況です

○全ての教科が県平均を上回り、特に国語は3ポイント以上上回っている。

＜国語＞12問中10問で県平均を上回るが、「漢字の読み」においては、1ポイント程度県平均を下回る。

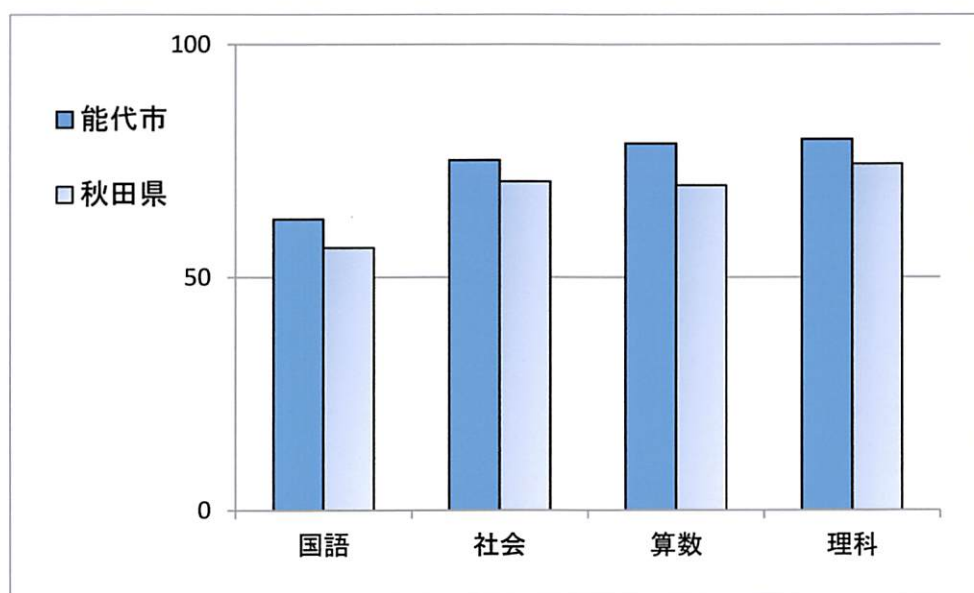
＜算数＞20問中12問が県平均を上回る。特に「正三角形の作図の筋道立てた説明」においては10ポイント以上県平均を上回る。

＜理科＞12問中4問県平均を上回る。「光電池の働き」と「磁石の性質」では、10ポイント以上県平均を上回るものの、下記の通り県平均を下回る問題も多い。

★県平均を下回る主な課題・設問(▼特に県平均を5ポイント以上下回った問題)

国語	①電気を <u>並</u> びる ②イスを <u>倉庫</u> にしまう
算数	① $928 \div 29$ ② $1.7 + 8.5$ ③6兆は6億の何倍か ④日常生活での見積もり 「すすむさんは、170円のノート1さつと540円のマーカーペン1セットを合わせて買って、代金を1000円札でしはらいます。少なくともいくらのおつりがくるのかについて、それぞれの代金を百の位までのがい数にしてから考えました。『切り上げ』『切り捨て』『四捨五入』のいずれかを使って考え、求め方と答えを書きましょう。」
理科	①方位磁針の使い方▼ ②昆虫の育ち方 ③太陽の動き ④月の動き・月の出る方位 ⑤電気の働き ⑥関節の働き

(2) 小学校 5 年生平均正答率



☆ 各教科とも大変良好な状況です

○全ての教科が全県平均を大きく上回る。国語、理科は5ポイント以上、算数は10ポイント以上上回る。

＜国語＞全ての問題で県平均を上回った。特に、「漢字の組み合わせ」や「修飾・被修飾」などの4問で10ポイント以上県平均を上回った。

＜社会＞20問中、17問が県平均を上回った。特に、「地域の発展に尽くした先人」や「食料の輸入の良さと問題点」の問題で、県平均を10ポイント以上上回った。

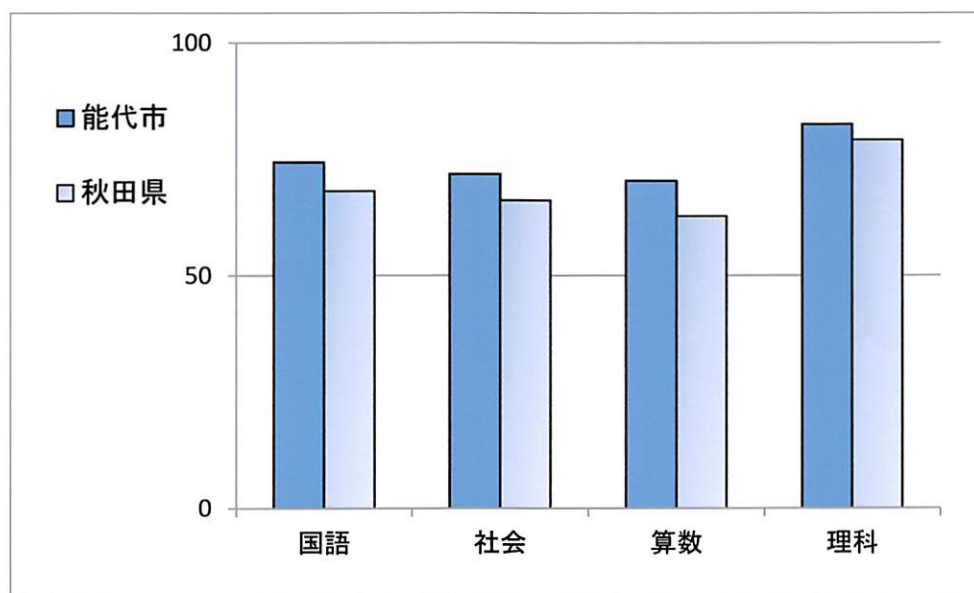
＜算数＞全ての問題で県平均を上回った。特に「商と余りを求める計算」や「倍数と最小公倍数」など9問が県平均を10ポイント以上上回った。

＜理科＞20問中、18問が県平均を上回った。特に「水の音頭による体積変化」「閉じ込めた空気の体積と押し返す力の関係」「受粉の結実を調べる実験計画」の3問は県平均を10ポイント以上上回る。

★県平均を下回る主な課題・設問(▼特に県平均を5ポイント以上下回った問題)

社会	①秋田県的主要な川の名称▼ ②地域の文化財や年中行事 ③水産物の生産や輸送にかかる費用
理科	①空気の温まり方 ②顕微鏡の使い方 (*中2でも顕微鏡の使い方に課題)

(3) 小学校 6 年生平均正答率



☆ 各教科とも大変良好な状況です

○全ての教科が全県平均を大きく上回る。国語、社会、算数は県平均を5ポイント以上上回っている。

＜国語＞20問中、18問が県平均を上回る。特に、「漢字の書き」「表現の工夫の理解」等5問は、県平均を10ポイント以上上回る。

＜社会＞20問全て県平均を上回る。特に、「参勤交代の目的」「伊能忠敬と新しい学問」の問題では、県平均を10ポイント以上上回った。

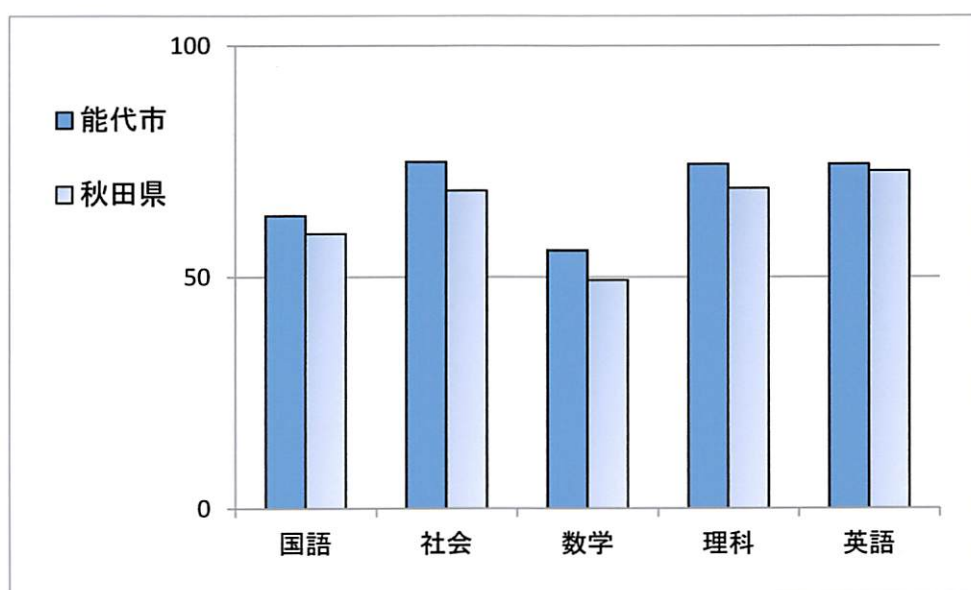
＜算数＞20問全て県平均を上回る。特に、「分数の除法の場面を式で表現」や「□や○などを用いた式」などの5問では、県平均を10ポイント以上上回った。

＜理科＞20問中18問が県平均を上回る。全県平均も設定通過率に届かなかったが、能代市でも「インゲン豆の生長に必要な条件を調べる実験計画」の問題の理解が低く、今後の授業改善のポイントとなる。

★県平均を下回る主な課題・設問(▼特に県平均を5ポイント以上下回った問題)

国語	①従う(読み) ②「猫に小判」と同じ意味のことわざ
理科	①母体内での人の養分の取り方 ②インゲン豆の生長に必要な条件を調べる実験計画

(4) 中学校 1 年生平均正答率



☆ 各教科とも良好な状況です

○全ての教科が全県平均を上回る。特に、社会、数学、理科では県平均を5ポイント以上上回った。

＜国語＞20問中17問が県平均を上回る。特に「文節の区切り方」「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す」問題では、県平均を10ポイント以上上回った。

＜社会＞20問中18問が県平均を上回る。特に「戦後の日本の様子(東京オリンピック)」「地球儀(模式図)の活用と日本と大陸の位置関係」等3問は、県平均を10ポイント以上上回った。

＜数学＞20問中19問が県平均を上回る。特に「一次方程式の解」「必要なマッチ棒の本数を式で表現」等、4問では県平均を10ポイント以上上回った。

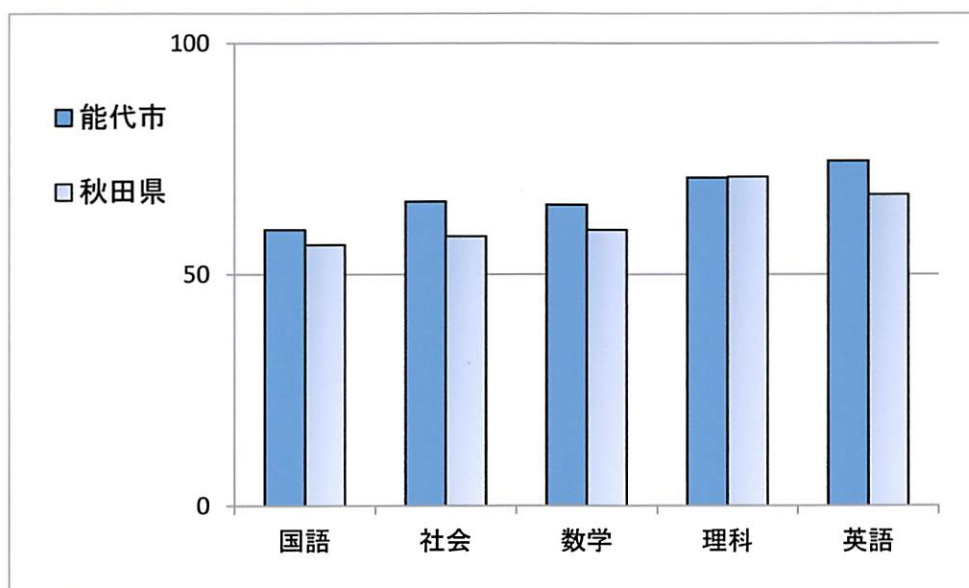
＜理科＞20問中19問が県平均を上回る。特に「エタノールを湯煎で温める理由」「葉脈と維管束の並び方の関連」等3問は、県平均を10ポイント以上上回る。

＜英語＞20問中13問が県平均を上回る。特に「明日の時間割に関する会話の読み取り」の問題は県平均を10ポイント以上上回るが、下記の通り、聞き取り等課題も多い。

★県平均を下回る主な課題・設問(▼特に県平均を5ポイント以上下回った問題)

国語	①「秋田県内には、いろいろなめずらしくおいしい特産物が、昔からたくさんあります。」下線部が、直接修飾する一文節はどれか。 ②「短い時間」という意味をもつ四字熟語 ③楷書における文字の大きさ
社会	①国民の祝日に関する意味や由来 ②選挙の意味
数学	①「Aさん、Bさん、Cさん、Dさんの4人が1チームでリレーをします。走る順序は、全部で何通りありますか」(起こりうる場合の数)
理科	①気孔の周りの細胞の名称
英語	①「もっているCDの数」の聞き取り ②「犬を飼っているか」についての聞き取り ③「朝食で食べるもの」についての聞き取り ④「海外のホテルの案内」の読み取り⑤メモの読み取り ⑥Let'sを含む文の構造 ⑦be動詞の疑問文の構造

(5) 中学校 2 年生平均正答率



☆ 4 教科で良好な状況ですが、理科に課題があります

○社会、数学、英語は5ポイント以上県平均を上回っているが、理科は0.2ポイント県平均を下回っている。

＜国語＞20問中16問が県平均を上回る。特に「表現の意図や効果の理解」「自分の考えの根拠を明確にして各作文」の2問は、県平均を10ポイント以上上回った。

＜社会＞20問中19問が県平均を上回る。特に、「世界の主な宗教の分布」「世界の特色ある自然環境と住居」等4問では、県平均を10ポイント以上上回る。

＜数学＞20問中19問が県平均を上回る。特に、「球の表面積」「二元一次方程式の解」等4問は県平均を10ポイント以上上回る。

＜理科＞20問中10問が県平均を上回るが、下記の通り課題が多い。「顕微鏡の使い方」においては小学校5年生でも課題となっているため、小・中ともに特に力を入れていかなければならない。

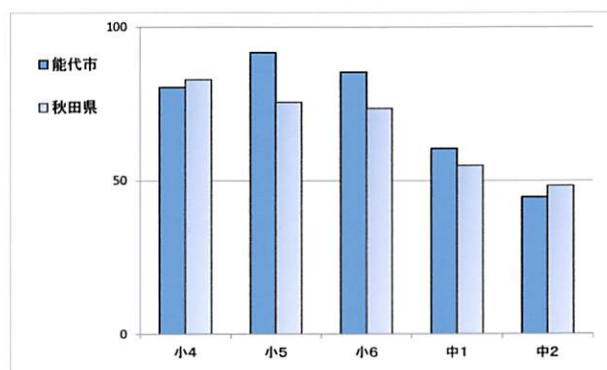
＜英語＞20問中19問が県平均を上回る。特に「メール文とその返信の読み取り」「適切な文章の構成」等6問が県平均を10ポイント以上上回る。

★県平均を下回る主な課題・設問(▼特に県平均を5ポイント以上下回った問題)

国語	①聞き取り問題 ②都市が陥落する(漢字の読み) ③古文の内容理解 ④「私は、 <u>たまたま</u> 自転車で隣町まで買い物に行きます。」品詞の分類の説明
社会	①世界の様々な地域の調査、3つの資料から「オーストラリアとアジアの結びつきが強くなった理由」を記述する▼
数学	①平面図形の移動
理科	①マグマの粘性と無色鉱物の割合 ②褶曲のでき方 ③初期微動継続時間の読み取り ④空気中の音の伝わり方 ⑤質量保存の法則についての理解 ⑥密閉系で行う実験の仕方 ⑦金属の粉末を加熱する際の留意点 ⑧顕微鏡の使い方 ⑨植物細胞と動物細胞の共通点と相違点▼ ⑩ヒトが刺激を受け取ってから反応するまでの経路
英語	①イングリッシュキャンプで参加者に話しかけられたときの適切な応答▼

Ⅲ 質問紙調査結果

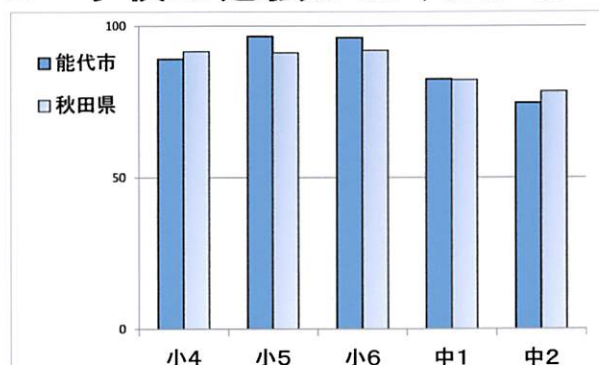
1 勉強が好きだ



「強くそう思う」と「そう思う」の割合

小5, 6の割合が全県平均を10ポイント以上上回っています。また、昨年度と比較すると、中1が10ポイント以上上がっています。小・中連携の効果も要因の一つと考えられます。

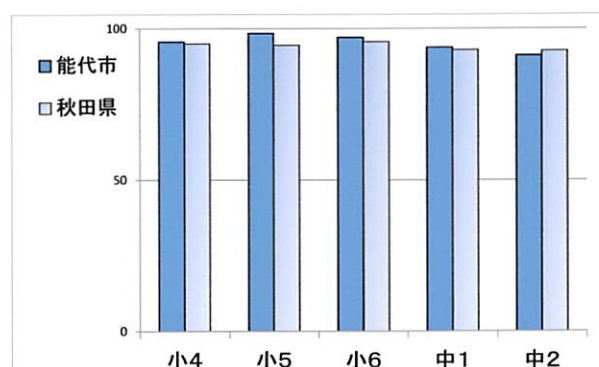
2 学校の勉強がよくわかる



「強くそう思う」と「そう思う」の割合

全県的に小学校と比較して、中学校では割合が少し減少するものの、上記1と同様中1に良い傾向が見られます。中1ギャップへの各校の取組がうかがえます。

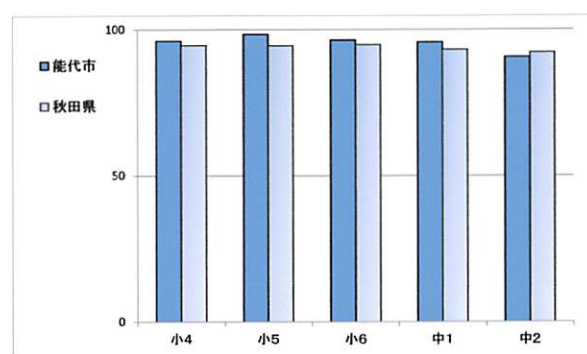
3 ふだんの生活や社会に出て役立つよう、勉強したい



「強くそう思う」と「そう思う」の割合

どの学年も、勉強することを普段の生活や社会で役立てようとする前向きな姿勢がみられます。

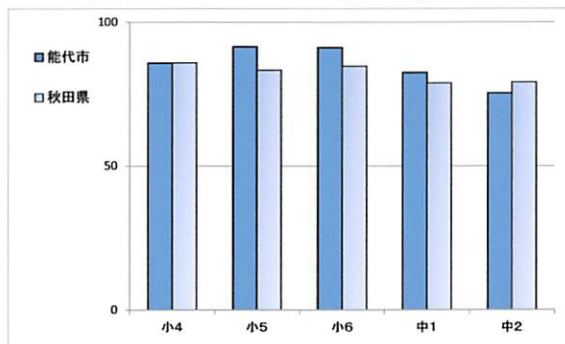
4 学校が楽しい



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

ほとんどの児童生徒が、学校が楽しいと感じています。しかし、少数ですがそう感じていない児童生徒がいるのも事実です。その子のよさを生かし、集団の中で自己存在感を味わわせるなどの配慮が必要です。

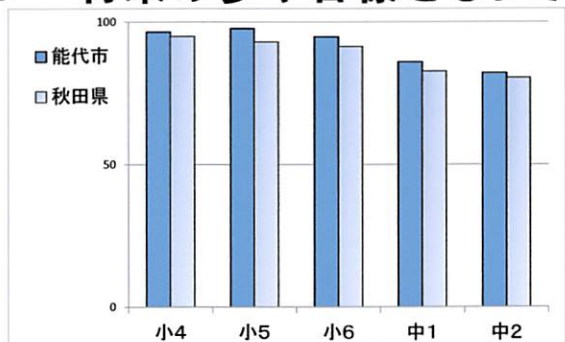
5 自分にはよいところがあると思う



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

どの学年においても、多くの児童生徒が自己肯定感をもっていることがうかがえます。活躍の場を与え、褒められたり認められたりする機会を多くつくり、自信をもたせていくことが大切です。

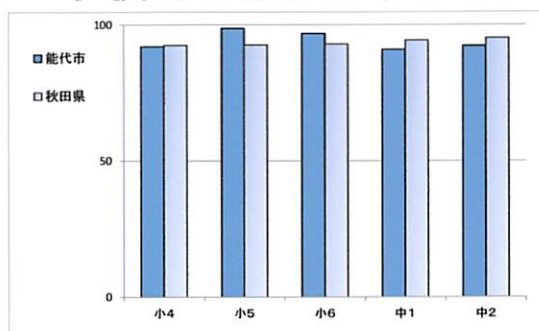
6 将来の夢や目標をもっている



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

全ての学年で、将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合が、県平均を上回っています。総合的な学習の時間や進路指導などを各校で丁寧に行っていることが数値に表れています。

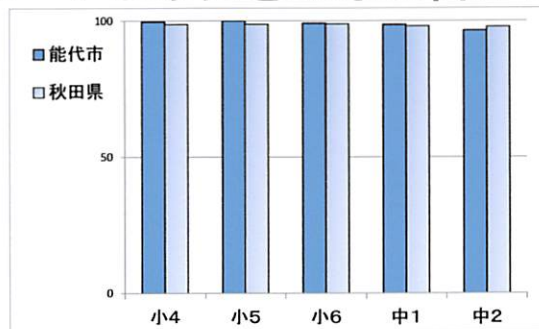
7 学校のきまりを守っている



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

ほとんどの児童生徒が、学校のきまりを守っていることがうかがえます。なぜ決まりを守ることが大切なのかということを話し合うことも含め、今後も規範意識を育てていくことが大切になります。

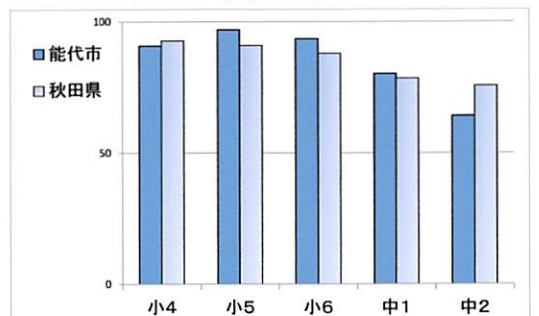
8 いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

中学生ふるさと会議において「いじめゼロ」を宣言し、能代市内小・中学校に発信しました。今後も、児童生徒が自ら考え行動する力を、学校、家庭、地域が一体となって育てていきたいと思います。

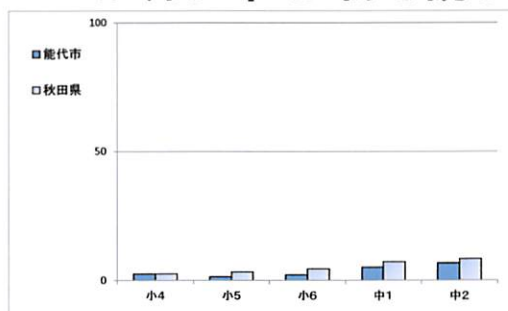
9 理科が好きだ



「大好き」と「好き」の割合

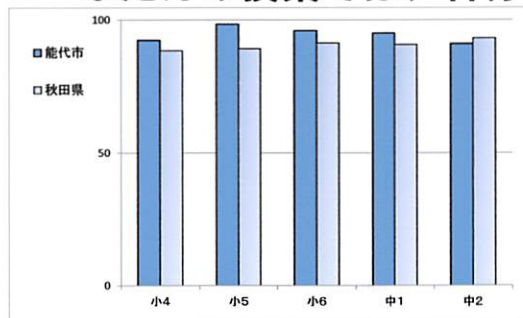
昨年度と同様、嫌いな理由として最も多いのが「わかりにくい」でした。わかる・できる授業づくりのための一層の工夫が求められます。

10 1か月に本を1冊も読まない（不読率）



全ての学年で、全県平均を下回りました。特に、中学校では大きな成果を上げました。授業で本に親しませたり、学校図書館の環境を工夫したり、各校の取組の成果が顕著に表れました。また、各校で「能代市子ども読書活動推進計画」に沿った活動に取り組んでいます。

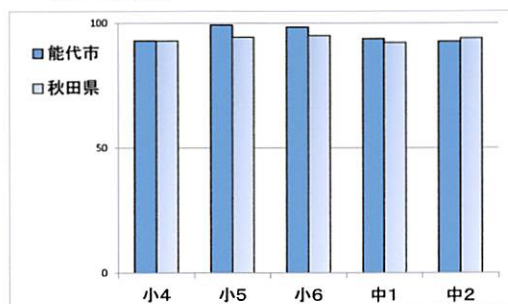
11 ふだんの授業では、自分の考えを発表する機会があると思う



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

ほとんどの児童生徒が、授業中、発表の機会がよくあると感じており、授業者が子どもを主体とした授業を構築しようとしていることがあらわれています。特に、小5では、全県平均を10ポイント近く上回る100%に近い結果となりました。

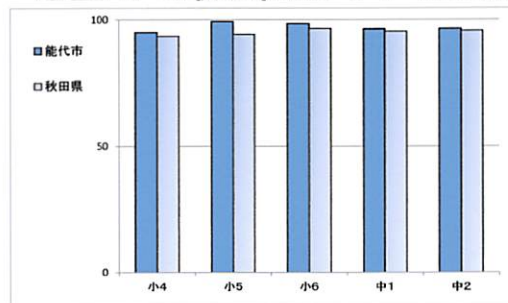
12 ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

全ての学年で、90%を超える割合であり、良好です。今後も、アクティブラーニングを意識した授業づくりに努めていきたいと思います。

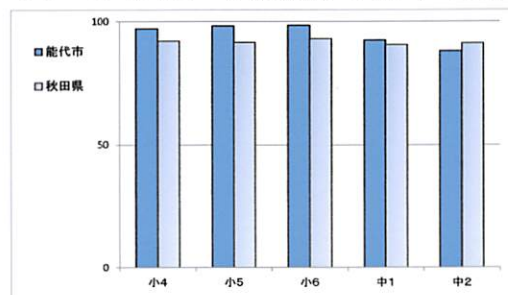
13 ふだんの授業では、はじめに授業の目標（めあて・ねらい）を立てて取り組んでいると思う



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

全ての学年で県平均を上回る、ほぼ100%に近い割合でした。特に、昨年度県平均を下回った、中学校の授業改善への取組がうかがえます。

14 ふだんの授業では、最後に振り返る活動をよく行っていると思う



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

昨年度よりも秋田県全体が「振り返り」の時間を大事にしていることが、数字からうかがえます。能代市では、中2で3.2ポイント全県平均を下回ることが真摯に受け止め、なお一層授業改善に努めていくことが重要です。